

スピードスケート・ジャパンカップ第4戦

男子5000m 松尾が2位
坂井は1500m 3位

スピードスケートのジャパンカップ競技会第4戦が2月5、6の両日、山梨県の富士急ハイランドセイコーオーバルで行われた。男子5000mで松尾駿(経済3・八戸西高)が2位、1500mで坂井洸太(経営3・白樺学園高)が3位となった。松尾は「レース前はあまり自信がなかったが、良い結果が残せて良かった」と話した。

続く第5戦(2月19、21日、長野市オリンピック記念アリーナ・エムウエーブ)では、1万円で松尾が5位、1500mで坂井が6位となった。松尾は「途中で順調だったが、思うようなレース展開ができなかった。

卓球のサファイールオープン(スウェーデン)の選手もたくさんいたので、とても良い経験になりました」と振り返り、また、男子では田中健(商2・滝川第二高)がシングルス・クラス1でベスト8、U-21でベスト16入りした。

北川 クラス1でベスト4

卓球のサファイールオープンが2月24日から28日まで、スウェーデンのエアレプロで行われ、女子シングルス・クラス1で北川真央(文1・日南奨(商2・滝川第二高)がベスト4に入った。



テニス・関東学生新進選手権 男子シングルス 金城が優勝

テニスの関東学生新進選手権が2月28日から3月6日まで、有明テニスの森公園で行われ、男子シングルスで金城充(法1・南風原高)が優勝した。



1回戦はシードで、2回戦は3-0、3回戦は3-1と順調に勝ち進んでいく。準々決勝は日本人選手相手にフルセットまでもつれた末、3-2で勝利。続く準決勝は1セットを奪うものの1-3で敗れた。

初回の国際大会を終え、緊張したけど、日本人にはあまりいないタイプと緊張していた」と言う

金城は、第1セットを接戦で奪う。第2セットは「緊張がほぐれた」とめくった。



「優勝できると思っていなかった。びっくりしている。テニスをやめようと思っていた時期もあったが、続けて良かった」と話した。

「はちのへ国体」あきた鹿角国体 専大選手、各県代表で活躍

スケート、アイスホッケー競技の「はちのへ国体」(1月26、30日)と、スキー競技の「あきた鹿角国体」(2月12、15日)が行われ、スピードスケート部、アイスホッケー部、スキー部の選手たちが各県代表として活躍した。



自身の経験を語る下平さん(撮影=青木宏平)



スキー部員健闘 各大会で上位入賞

1月から3月までに開催された各大会で、スキー部員たちが上位に入賞し、健闘した。

【長野県スキー選手権(アルペン種目)】1月9日から11日まで、松本市野麦峠スキー場で行われ、男子回転で塩田大高(法4・飯山南高)が2位、大回転で3位となった。女子大回転で、清水香帆(法3・飯山南高)

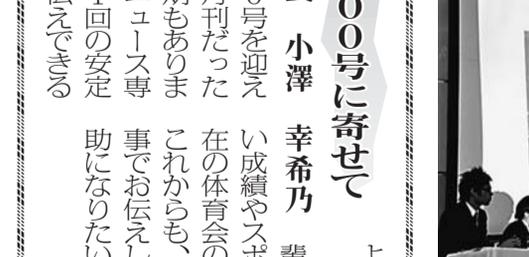
【FISファイブス トカップジャパンシリーズ】3月3、4の両日野沢温泉で行われたシュナイダーカップの女子回転で丸子由里香(経営4・北照高)が3位。また、丸子は3月8、9の両日志賀高原で行われた志賀高原カップの同種目でも4位となった。

1部復帰を目指して 高橋 薫野球部新監督に聞く

東都大学野球春季リーグ戦(2部)の開幕を控え、今年1月に野球部監督に就任した高橋薫監督(昭54文)に、これまでの経験と1部復帰を逃し、低迷期到来と心配さ

の胸には「学生はプロではない」という思いが根底にある。「選手たちには背伸びをしても良くない。土台をしっかり作って戦いたい。そして2部で優勝して1部の土俵に上る」と語る監督の姿は頼もしく映った。

「はちのへ国体」あきた鹿角国体 専大選手、各県代表で活躍



自身の経験を語る下平さん(撮影=青木宏平)

柔道・パシフィック国際大会(カナダ) 81kg級で小川が優勝

佐藤、菅原ともに3位



柔道のパシフィック国際大会が2月19日、カナダのリッチモンドで行われ、81kg級で小川智基(経済3・北越高)が優勝した。

ボクシング部OB 山中 慎介さん初防衛

第47回体育会リーダーズキャンプ リーダーの自覚明確に

2日目は柏レイソルU-18監督の下平隆宏さん(元サッカー日本代表)が「プロが語るリーダーシップ」をテーマに、柏レイソルとFC東京でキヤプテンを務めた経験に基づいたリーダーのあり方について講演した。

専大スポーツ300号に寄せて 編集長 小澤 幸希乃